

パーキンソン病におけるダンス活動

PDダンスカフェ in 札幌

仲間と出たい方、新しいことに挑戦し続けていたい方のために・・・
『PDダンスカフェ』では車いすや椅子に座ったまま出来るダンスの紹介や
パーキンソン病のレクチャー、カフェタイムでの交流・相談会を通して、
パーキンソン病との付き合い方や悩み、疑問、情報等が共有できるひとときを提供しています。
今回は、福岡からパーキンソン病の専門医と専門看護師をお招きして開催します。

参加者
募集!

2025

8 / 30 (土) 13:30~16:30 ごろまで (開場 13:00)

会場 札幌大谷大学 響流ホール B403 (4F)・B303 (3F) / 札幌市東区北16条東9丁目1-1

対象 パーキンソン病をお持ちの方、そのご家族や支援者など、パーキンソン病と共に暮らす方々、
パーキンソン病やPDダンスについて学びたい方

定員 40名程度

参加費 お一人様500円 (当日現金支払い)

会場アクセス

札幌大谷大学 ※南口よりお入り下さい※

札幌市東区北16条東9丁目1-1

◆地下鉄

「東区役所前」駅下車 2・3番出口から徒歩 10分程度

「環状通東」駅下車 1番出口から徒歩 10分程度

◆中央バス

「大谷学園前」下車 徒歩 5分程度

「北15条東9丁目」下車 徒歩 5分程度

お車の方は先着3名様まで敷地内の駐車場の
ご予約が可能です。
お申込みの際お知らせください。



パーキンソン病と共に暮らす、すべてのみなさまへ

主催：文化庁・一般社団法人パラカダンス
協力：坪井義夫教授、Dance for PD Japan〜パーフェクトダンス®、COLA (Community Dance Laboratory Sapporo)、
札幌大谷大学、全国パーキンソン病友の会北海道支部
文化庁委託事業「令和7年度障害者等による文化芸術活動推進事業」

PDダンス®とは？

車いすや椅子に座ったまま出来るダンスで、PDには「パーフェクトダンス」と「パーキンソン病」2つの意味があります。アメリカで始まった「Dance for PD®」の活動をもとに、日本では2019年～福岡にて文化庁の委託事業として展開し全国に広がりを見せています。PDダンスは五感や想像力を働かせながら振り付けと自由表現を組み合わせて踊ることで、脳内神経が活性化され心もほぐれる効果があります。はじめての方でも無理なく安心してご参加いただけます。北海道では初めての開催となる今回は福岡からPDダンス®の指導者をお迎えし皆さんと一緒に踊ります。

スケジュール

- 13:00～ 受付開始
- 13:30～13:35 ごあいさつ・事業の説明
- 13:35～14:05 レクチャータイム (坪井)
- 14:05～14:10 休憩・準備
- 14:10～15:10 PDダンスタイム (マニシア)
- 15:10～15:20 休憩・移動
- 15:20～16:30 交流・相談タイム (坪井・山本)

※カフェタイムでは当事者のグループとご家族を含む介護者のグループが2つのお部屋に分かれて、それぞれお話できるテーブルを設けます。
※交流・相談タイムにはパーキンソン病専門の医師と看護師が立ち合います。

お申込み方法

以下の必要事項を **メール・FAX・お電話**のいずれかにてお知らせください。

- ① 参加者の人数と氏名
例) 福岡花子 (当事者)・福岡太郎 (夫) の2名で参加します。
- ② 参加者の年齢 (年代)
- ③ 顔出しの可否
(SNSや文化庁の報告書用に写真を使用する場合があります)
- ④ 歩行に不安のある方はお知らせください。
(車いすや歩行器使用の有無等)
- ⑤ 事前に相談したい内容が決まっている方はお知らせください。
(当日、その場でもご相談いただけます)
- ⑥ 駐車場をご利用の方は事前にお知らせください。
(先着3台まで予約可)



▲映像リンク
ダンスカフェの様子を
ご覧いただけます。

ここではみんながダンサーです。



坪井義夫教授
レクチャー講師・カフェタイム立ち合い

1986年千葉大学医学部卒。同大学神経内科に入局後、松戸市立病院等を経て1997年より福岡大学神経内科所属。2000年から3年間米国 Mayo Clinic 留学後、再び福岡大学病院に所属し、2011年10月～2024年3月まで脳神経内科学教室教授を務める。脳神経内科領域でも運動障害学、特にパーキンソン病を専門として臨床、研究をする傍ら、友の会顧問活動を通じて社会活動を行っている。現在は、つつみクリニックにてパーキンソン病専門外来センターのセンター長として勤務の他、順天堂大学共同研究講座特任教授も務める。



マニシア
PDダンスファシリテーター

ニューヨークにて長期間活動後、福岡を拠点に国内外で多世代かつ多様な方々とコミュニティダンスを展開。ダンス・ムーブメント・セラピストとしても生きづらさを抱えている人々や支援者を対象とした活動を意欲的に取り組んでいる。マークモリス・ダンスグループでDance for PD®の指導者育成講座を修了し、2016年より福岡でPDダンス®を始める。2019年より「PDハウス」でも実施。さらに昨年日本人で初めてのDance for PD®の認定講師となり、ダンスファシリテーター養成講座にて後進の育成にも取り組んでいる。



山本澄子
看護師・カフェタイム立ち合い

1994年国立指宿病院付属看護学校卒業。同年より福岡大学病院に入職し、2002年から脳神経看護を経験。2017年からパーキンソン病のデバイス補助療法に携わり、2019年World Parkinson Congress(WPC)にケアパートナーラウンジ日本人スタッフとして参加する。難病看護師、パーキンソン病療養指導士として施設内のパーキンソン病の看護や様々な職種との連携調整を行うとともに、PDダンスでは当事者だけでなく、ご家族(ケアパートナー)の方々への支援に取り組んでいる。

PDダンス▶
ホームページ



PDダンス▶
FBページ



YouTube▶



お申込み・お問い合わせ 担当 ▶ 一般社団法人パラカダンス 担当：野中

メール ▶ info@pddance.jp

電話・FAX ▶ 092-831-8950 携帯 ▶ 090-7468-7867